

子育て支援施設適正配置計画（案）について

伊那市では、「こどもたち一人ひとりが、より健やかに、安心して自分らしく成長できる」環境づくりを進めておりますが、保育の現場では、少子化、未満児保育の需要増加、保育士人材不足、保育施設の老朽化などの課題があり、将来にわたって伊那市の保育環境を「より豊かに」維持していくためには、保育園の環境のあり方について考える必要性があります。

以前より、「保育園適正配置計画」「個別施設計画」を進めてまいりましたが、計画の更新時期になったことも踏まえ、課題解決についても反映した「こども・子育て関連施設のあり方を中・長期的に展望するもの」として、令和9(2027)年度から令和18(2036)年度までの10年間を組込み期間として計画を策定します。

【伊那市の保育現場の現状と課題】

- ①園児数の減少と保育ニーズの多様化
- ②未満児の入園希望の増加
- ③保育士人材不足
- ④保育園舎の老朽化と維持管理

【子育て施設適正配置検討】

国の「地域分析のためのモデル事業」活用し、人口動態、保育需要、人材状況等の分析結果を踏まえて、今後の市の保育園等施設の適正配置を計画的に実施していく

子育て支援施設適正配置計画施行までの予定		備考
R8 年 4 月 6 月 30 日 7 月末 11 月頃 12 月頃 R9. 1 月頃 3 月	地域分析業務の委託 子育て施設適正配置検討委員会① 利用者・住民アンケート 庁内関係者会議 子育て施設適正配置検討委員会② 保育園地域運営委員会にヒアリング 子育て施設適正配置検討委員会③ パブリックコメント 子育て施設適正配置検討委員会④ 全員協議会報告	※庁内関係者会議は随時開催 ※保育園地域運営委員会開催園（竜北・竜東を予定）
R9. 4	子育て支援施設適正配置計画施行	

伊那市における要保護児童における現状

A 虐待通告の現状

1) 年度別通告数

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
虐待通告人数	120	107	67	116	97
通告件数	77	61	44	71	62

2) R7年度虐待通告内訳

<虐待種別通告人数>

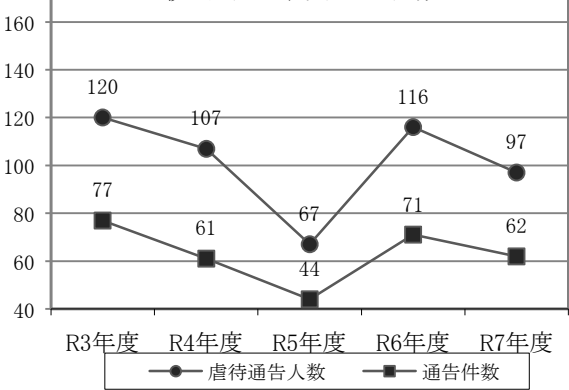
心理的虐待	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	その他 養育困難	計
64	25	7	1	0	97

<要因(人数)> ※複数カウント

ひとり親	貧困	保護者障害	子障害	親族からの孤立	子だくさん	保護者非就労	ステップファミリー	夫婦不和	転居繰り返し	ヤングケアラー
34	17	29	31	18	14	13	20	28	12	11

不登校	未婚	生活保護	若年出産	外国人	非就労	特定妊婦
2	4	6	5	8	13	8

<伊那市の年度別通告数>



B 要保護児童進行管理表

1 要保護(要支援)の人数

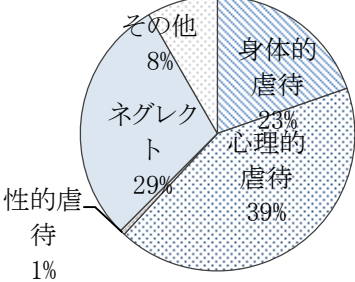
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
要保護児童数	98	87	61	63	84
要保護家庭数	57	52	38	38	46
要支援児童	44	48	66	62	32

2 被虐待者の年令・相談種別人数

(要保護児童116人に対する延べ人数 相談種別が重複しているため)

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	その他
0～3才未満	1	4	0	0	2
3～学齢前児童	4	12	0	4	0
小学生	20	32	1	18	4
中学生	6	13	0	14	4
高校生・その他	2	10	0	13	4
合 計	33	71	1	49	14

<要保護になった理由>



3 年齢別要保護児童数(実人員)

	男	女	合計
0～3歳	2	4	6
3歳～6歳	11	5	16
小学生	36	15	51
中学生	12	14	26
高校生・その他	7	10	17
合計	68	48	116

4 要保護、要支援児童116人のリスク要因 (重複カウント)

ひとり親	貧困	保護者発達障害	子発達障害	親族からの孤立	子だくさん	親知的障害	保護者非就労	ステップファミリー	夫婦不和	転居繰り返し
52	48	46	59	30	21	11	14	17	15	9

ヤングケアラー	不登校	未婚	生活保護	若年出産	外国人	保護者無し
8	8	9	5	9	5	1

リスク要因



こどもの貧困、児童虐待等について

子育てサポート課

1 経済的困難にある家庭に対する食料品等の支援

増加傾向にある生活困窮家庭には、ひとり親世帯が多く、様々な困難を複合的に抱えている。また、子どもの日々の生活へ影響し、早急な改善が求められる場合が多い。こうした家庭に対して経済的負担を軽減するため食料物資等の支援を行う。

【配布物資】

食料品セット（インスタント麺、レトルト食品、冷凍食品等）、パン、米、ミルク、オムツ等

【効果】

- 食料物資等の配布は、連絡・訪問する理由の有効なツールになる。
- 訪問することによって生活状況の把握や養育の様子を伺うことが出来る。
- 小学校・保育園で配布したパンや牛乳を食べさせてもらうことにより、保護者が食事を用意しないネグレクトの児童に対応することができる。

2 ヤングケアラー支援体制強化事業

(1) ヤングケアラー・コーディネーターの配置

ヤングケアラーを早期発見・把握すると共に、家庭の状況に応じ、適切なサービスにつなげられるよう関係機関と連携して相談・助言などを行う専門職を配置する。

(2) ヤングケアラーの実態調査の実施

ヤングケアラーに係る実態を把握するため、学校において年2回（7月、2月）実施している「学校・家庭の生活実態調査」に合わせ、各小・中学校の協力をいただき全児童生徒を対象に調査を実施する。調査により判明した心配な家庭についてコーディネーターが家庭内状況を確認し、個別面談等を実施する。

伊那市全体で把握している件数：27世帯33人（R8年6月現在）

(3) 子育て世帯訪問支援事業（ヘルパー訪問事業）

家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭や、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を、訪問支援員（ヘルパー等）が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施する。これにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことに繋げる。

令和8年度は、伊那市社会福祉協議会へ委託して事業実施している。



すべての子どもたちの育ちを応援する

新しい通園制度がスタート！

「保育園に通えるのは、おうちの方が働いているから」といったこれまでの条件にとらわれず、子育て中のどんな家庭でもお子さんを保育園などに預けられるようになりました。



利用方法

①利用登録

下記2次元コード
(つうえんポータル)
より、利用申請を
してください。



つうえんぽーたる

こども誰でも
通園制度総合支援
システム(つうえん
ポータル)から
予約できます！

②初回面談

システムから伊那
北保育園を検索
し、面談の予約を
してください。
(予約日に親子で
面談を行います。)



③予 約

システムから
利用を希望す
る日時を
予約します。



利 用



実施施設

〒396-0005 長野県伊那市野底 7913
伊那北保育園 (併設)

利用時間・利用料金

- ・ 平日 午前9時から正午
午後1時から午後4時
(上限1日3時間まで)
- ・ 1人1か月あたり10時間まで
- ・ 1人1時間あたり300円

利用対象者

- ・ 0歳6か月～満3歳未満のこども
 - ・ 保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業・企業主導型保育事業所に在籍していないこども
- ※給食の提供はありません。



問い合わせ先

伊那市役所こども部こども政策課保育係

☎ 080 - 2230 - 3433

✉ kos@inacity.jp



HPの2次元コード



学童クラブの状況

学童クラブ名	定員	年度	登録者	登録数に対する 平均値での 利用割合	通所者数			夏休み 登録者数
					平均	最高	最低	
伊那小	118	R8	147	62	91	108	67	159
		R7	139	67.7	94	105	86	141
伊那東小	88	R8	171	65	111	124	102	184
		R7	165	69.1	114	126	108	174
伊那北小	108	R8	89	69.7	62	69	53	80
		R7	76	69.8	53	59	39	82
伊那西小	22	R8	20	85	17	20	13	23
		R7	16	81.3	13	15	10	23
富県小	38	R8	21	71.5	15	17	12	29
		R7	19	73.7	14	17	12	
新山小	25	R8	17	82.4	14	18	9	21
		R7	14	78.6	11	14	9	33
美鷲小	88	R8	113	71.7	81	98	72	134
		R7	99	71.8	71	85	59	112
手良小	35	R8	14	71.5	10	12	7	15
		R7	21	57.2	12	18	8	19
東春近小	65	R8	82	73.2	60	71	31	95
		R7	76	71.1	54	63	55	97
西箕輪小	93	R8	108	68.6	74	90	70	119
		R7	99	74.8	74	88	70	121
西春近北小	61	R8	59	81.4	48	52	44	54
		R7	56	73.3	41	49	39	55
西春近南小	22	R8	39	71.8	28	35	21	41
		R7	23	60.9	14	18	9	28
高遠小	76	R8	53	83.1	44	50	20	66
		R7	57	82.5	47	53	40	64
高遠北小	22	R8	9	55.6	5	7	1	15
		R7	8	62.5	5	8	2	15
長谷小	41	R8	26	73.1	19	21	15	23
		R7	28	75	21	26	16	34
全体合計 ・平均		R8	968	70.2	679	792	537	1058
		R7	896	71.3	638	744	562	998
土曜日特別		R8	30	40	12	14	9	
		R7	36	52.8	19	24	14	

※ 6月時点の比較

【指導員体制】

- ・支援員 18人
- ・コーディネーター 1人
- ・協力員 167人

伊那市内の小学校に就学している児童を対象とした学童クラブ協力員を募集

子どもが好きな方歓迎！ 資格は問いません！

学童クラブ 協力員募集！

(随時)

「学童クラブ」は、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生が、安心して過ごせる場所です。

協力員は、資格を持っている支援員と共に子どもと一緒に遊んだり勉強のサポートをします。



■勤務日

平日 : 15:00~18:00までの
3時間程度

学校休業日 : 8:00~18:00までの
5時間程度

※勤務日数・勤務時間はお相談ください

■給与

時給 1,300円

■福利厚生

通勤費(片道2km以上支給あり)

児童厚生員共済保険加入



まずはお気軽にお問い合わせください。お待ちしております♪

伊那市役所 こども部 こども政策課 こども育成係

伊那市下新田 3050 電話 0265-78-4111 (代表) 内線 2321, 2327

Mail: kos@inacity.jp

担当 宮下、浦野

ウェルビーイング実践校 TOCO-TON(トコトン)の取組について

教育委員会 学校教育課

伊那市教育委員会では、長野県が取り組む「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON(トコトン)」に応募し指定を受けました。

令和8年度から、長野県教育委員会の支援を受けながら、以下の内容について重点的に取り組み、伊那市における教育課題の解消を図っていきます。

- 地域の資源・森・人との関わりを生かした探求活動
- 多様な学びの授業づくり（少子化に伴う学校の小規模化への対応）
- 地域の保育園・小学校・中学校・高校や公民館等での合同行事の実施
- 日本語指導支援（外国につながる子どもたちが伊那市で安心して学べる環境をつくる）
- 不登校児童生徒への支援

※長野県公式 HP から抜粋

ウェルビーイング実践校TOCO-TON(トコトン)

「ウェルビーイング実践校TOCO-TON(トコトン)」とは、長野県総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン3.0)の新時代創造プロジェクト「個別最適な学びへの転換プロジェクト」の取組の一環です。

長野県教育委員会は、すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」を追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校を目指して“とことん”取り組む学校を「ウェルビーイング実践校TOCO-TON(トコトン)」に指定しました。

実践校としての各校の取り組みを、学校や市町村教育委員会と連携し、県教育委員会と一緒に伴走しながら支援していきます。

【南信-伊那】伊那市教育委員会

伊那小、伊那東小、伊那北小、伊那西小、西箕輪小、東春近小、富県小、新山小、美簗小、手良小、西春近北小、西春近南小、長谷小、高遠北小、高遠小、伊那中、東部中、西箕輪中、春富中、長谷中、高遠中

※DEI=だれも えがお い～な
(Diversity Equity Inclusion)

「学びの森」の創造 多様な学びの場を保障するDEI

※学びの森=多様性を包摂する森のような「自分らしく伸びる」学びの場



森といきる 伊那市

【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・ 初期日本語指導教室併設学びの多様化学校の設置
- ・ ICT活用や対面による複数学級の合同学習
- ・ 自然・森・食・人との関わりを活かした探究活動

小学校：3,243名 中学校：1,718名

全公立学校

同一中学区

幼保と連携